

横山幸次

区政報告
ニュース

291

2008年1月27日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

日本共産党区議団
ホームページアドレス
<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpara/>

区がふれあい館整備計画見直しを発表 「町屋4丁目付近」にも開設を検討…



町屋4丁目一帯をのぞむ

「空白地域の解消を」(横山区議)の追求が実る
既存ひろは館の活用は課題…区民合意が基本
一月二十一日、荒川区は、「ふれあい館整備計画見直し」の案を議会に報告しました。
案では、事実上のふれあい館空白地域(半径五〇〇mの圏域に属さない)を解消するため、「町屋四丁目付近」に開設する方向で検討。改修予定のひろは館は「建て替え」に(耐用年数、構造、経費面など)、消防団分団本部倉庫・災害時避難場所など新機能も打ち出されました。これま



荒木田ふれあい館

町屋ひろは館は建て替えに変更し「ふれあい館」にする計画

ふれあい館開設を検討する地域…

で町屋二三四丁目地域に開設すべくと主張してきましたが、その道筋が一步開かれました。今後用地問題の解決、町屋二丁目ひろは館の活用など区民合意ですすめるべきです。ぜひご意見をお寄せ下さい!

町屋ひろは館...建て替え・改修の比較

現状 築38年、延床1586㎡、
《建て替え》の場合
約5億8000万円 工期2年
耐用年数 65年程度
《改修》の場合
約3億7000万円 工期8ヶ月
耐用年数 25年程度
...さてどうお考えですか!?

裏面 区議会最新報告など

定例法律相談

2月4日(月)
午後6時~8時
横山区議事務所

【定例生活相談会】
毎週水曜日 午後2時から5時
会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

「尾竹橋通りでのマンション建設問題」の限界は?

まちな話 あれこれ

尾竹橋通りで「ローヤルTKYビル」一帯の「解体工事」が行われ、ほぼ終わろうとしています。今後は、新たな高層建物の建築がはじまるうとしていきます。しかし周辺では、工事による「騒音」「振動」被害への「不安」「怒り」など大きくなっているようです。ここは、「商業地域」で事実上何の規制もなく高層建築ができるようになってきています。日本では、欧米と違って「開発自由」が原則。地方自治体が独自に規制することも制限されています。本来どんな地域でも周辺住民の合意ですすめるべきだし、やむを得ない場合でも「必要な保障」を行うべきです。こうした幹線道路沿いだけでなく、最近では住宅密集地の中に「建築違反で

ない」からと住環境無視で建てる例も増えています。地方自治体や地域独自の規制ができる法整備が必要ではないでしょうか。
横山幸次



解体工事の現場

「構造改革」の痛みと石油など物価高騰… 区の予算編成最終段階でくらし守る緊急提案



くらし守る緊急提案項目

日本共産党区議団は、予算編成最終段階にあたって「くらし守る緊急提案」を区に提出し予算に反映すべきと申し入れました。

(要望項目は左下囲み)

小泉内閣以来の「構造改革」は、規制緩和、社会保障切り下げ、増税、安定・低賃金労働の広がりなど国民に耐え難い痛みを強いています。四月からは、後期高齢者医療制度による負担増が高齢者を直撃します。加えて、石油高騰など相次ぐ物価値上げです。ギリギリのくらしをさらに追いつめる事態にならざることを望みます。

区の予算編成も最終段階ですが、二百九十五億円の基金の使い道などを含め、くらし優先の決断を求めました。



区議会…最新情報

4月から健康診査が変更!? 無料実施は継続になりました

新制度での健診について報告がありました。制度が変更になりましたが、荒川区では、検査項目もこれまで通り、無料実施も継続になりました。

健康診査は、これまでどおり**無料で実施**。

「メタボ」検査導入 40才から74才までの方は、内臓脂肪型肥満(メタボリックシンドローム・以下「メタボ」)の早期発見を盛り込んだ検査に。「メタボ」かその予備軍と診断された方は保健指導を受けることに。保健指導の対象者=ウエスト、コレステロール値、血圧、血糖値で判断。

(注)健診は、医師会委託。保健指導は、民間委託。
40才から74才の方で社会保険本人と扶養者の方は健保組合が実施する方針。(これまでは家族は区の健診が受けられました。4月から除外?対策が必要です。)
健診結果は、各医師から国保連合会を通じ各区に電子情報で伝えられ、区民に結果が通知。
(健康情報を電子情報化し蓄積されます。個人情報を守る対策が必要)

後期高齢者医療制度になる75才以上の健診も、荒川区で費用を負担・無料で実施することに。
実施期間は、従来より早い5月~10月の予定。

緊急肝炎ウイルス検査 必要な人に区が無料実施へ

薬害肝炎問題では、全員救済に向けた大きな前進がありました。この問題で荒川区も「緊急肝炎ウイルス無料検査」を実施することになりました。

感染不安があつてこれまで検査を受けてない人
検査内容は、B・C型肝炎検査
区内医療機関で実施期間は、1月から3月
受診費用は無料

問い合わせは
健康部保健予防課
(北庁舎内)

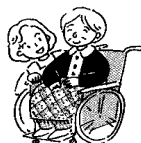


石油高騰など一連の物価値上げ状況と区民生活への影響を調査し、対策を講じること。
銭湯への支援と高齢者のくらし応援のため「高齢者半額入浴制度」を直ちに実施すること。

建築基準法の厳格化に対応するため、必要な専門性を持った人員体制を強化すること。

4月実施の後期高齢者医療制度については、いっそうの低所得者対策を講じるとともに、資格証明書を発行しない、健診の無料実施、葬祭費の支給を行うこと。

介護保険料について、貯蓄300万円以下、年収120万円以下については、保険料を免除する制度を実施すること。



石油高騰など一連の物価値上げ状況と区民生活への影響を調査し、対策を講じること。
銭湯への支援と高齢者のくらし応援のため「高齢者半額入浴制度」を直ちに実施すること。

建築基準法の厳格化に対応するため、必要な専門性を持った人員体制を強化すること。

4月実施の後期高齢者医療制度については、いっそうの低所得者対策を講じるとともに、資格証明書を発行しない、健診の無料実施、葬祭費の支給を行うこと。

介護保険料について、貯蓄300万円以下、年収120万円以下については、保険料を免除する制度を実施すること。

重度要介護高齢者に月1万円の手当を支給すること。

区内に特別養護老人ホームを増設すること。

通所サービスの食事代減額制度の継続とともに、介護施設入所者への減額措置を実施すること。

日中独居高齢者、高齢者世帯など必要な世帯に区独自の基準で生活支援ヘルパーを派遣すること。

妊産婦健診無料化、出産手当制度創設など具体化するのと。

要綱違反の認証保育所「じゃんぐる保育園」に対し厳正な処分を行うこと。また全ての区内認証保育所について実態調査を行うこと。



調査を行うこと。

営利企業が運営する区立認可保育園「はなみずき保育園」でも職員配置基準に反し東京都から文書指導されており、事業者の変更を検討すること。
必要な保育需要は、区立、社会福祉法人の保育園を中心に受入態勢を整備し、営利企業参入拡大を中止すること。

保育園給食調理民間委託を見直し現業の採用など行って「保育調理」の技術、技能を公務労働として継承すること。

就学援助の基準を緩和すること。また小中学生入学祝い金制度の創設と卒業アルバム代の補助を復活すること。

マンモス学童クラブの分割と三瑞小、一日小など必要なところに学童クラブ新設すること。



設すること。

小学校低学年から区独自に少人数学級を実施すること。
南千住東部地域の保育、幼稚園、学校、学童クラブの児童増対策をさらに研究すること。

小規模作業所の事業移行にあたって、現行の水準が後退しないよう必要な措置をとること。その際、家賃助成などについても検討すること。

障害者福祉サービスの自己負担をゼロにすること。
商店会管理の街路灯への電気代補助を拡大すること。

青年、母子、子育て・収入激変世帯などへの各種家賃助成をはじめとした住宅対策を検討し踏み出すこと。また区民、区営住宅を増設すること。
JR南千住駅北口改札を設

置するよう強く働きかけること。

JR日暮里駅西口にエスカレーターを設置すること。
下御隠殿橋中央に横断歩道を設置し、日暮里駅につながるスロープを設置すること。

区民施設について南千住のセメントサイロ跡地など検討すること。
町屋4丁目地域などふれあい館計画空白を解消すること。

指定管理者が運営する全施設について事業内容や職員配置などいっせいに点検を行うこと。

